

令和5年4月25日

果樹病害虫発生予察調査員 様  
関 係 農 家 様

NOSA I 新潟  
新潟県農業共済組合  
中越支所 果樹共済係

果樹病害虫発生予察調査結果（4/25調査分）について

本日の調査大変ありがとうございました。  
本日実施した調査結果をお知らせいたします。

**（ 共 通 ）**

- ナシを中心に、凍害・霜害等による芽枯れや枝枯れが散見されています。特に枯れ枝は、**胴枯病**や**紅粒がんしゅ病**の伝染源となりますので、必ず園外へ持ち出して処分しましょう。
- 有効積算温度によるふ化盛期は、**クワコナカイガラムシ**の越冬卵で5月6日頃、**ウメシロカイガラムシ**の第1世代で5月20日頃、**クワシロカイガラムシ**の第1世代で6月2日頃です。今後の気象条件により発生が早まる可能性もありますので、早めの防除を心がけてください。
- フェロモントラップによる**ナシヒメシンクイ**の誘殺数では、越冬世代のピークが昨年より早まっています。第1世代幼虫の防除適期は4月下旬～5月上旬頃と予測されますので、丁寧な防除に努めましょう。

**（ ナ シ ）**

調査地点ごとに200果葉そうを調査しました。

- 一部で、**黒星病**芽基部病斑が確認されました。開花期以降の降雨で感染リスクが高まります。昨年多発した園地や湿気の多い園地は特に注意が必要ですので、通風の改善等にも留意しましょう。
- 一部で、**セイヨウナシ褐色斑点病**の病斑が確認されました。発病葉を確認したら摘み取り、園外で処分しましょう。

(モ モ)

調査地点ごとに100花および100葉そうを調査しました。

- 一部で、縮葉病発病葉が確認されました。花腐れ症状(灰星病)は確認されませんでした。開花期に降雨もあったことから、発病花を確認したら摘み取り、園外で処分しましょう。
- 一部で、せん孔細菌病春型枝病斑が確認されました。風雨により拡散しますので、発病枝は切除し園外で処分しましょう。また、樹の上部は見えづらいですが、発病枝を丁寧に確認しましょう。
- モモハモグリガは、フェロモントラップ調査による誘殺は確認されていませんが、近年では5月上旬頃より食害痕が確認されています。本年は生育が早いことから、食害痕を丁寧に確認し、早めの防除を心がけましょう。

※ 薬剤防除は防除暦の散布時期ではなく、生育にあわせた対応をお願いします。

なお、これに関連した病虫害や生育の情報等については、農業普及指導センターよりJAを通じて送付される予定です。

◇ 次回調査は5月10日(水)です。

※本日実施した予察調査結果については、組合ホームページ上でもご確認いただけます。

担当 : 中越支所 果樹共済係
TEL : 0258-36-8105
FAX : 0258-34-8020